

## 第5章 個別原価計算と総合原価計算

### 0 原価計算の種類

#### 【原価計算の方法を3つの視点から分類する】

##### ① 生産形態による分類

個別受注（オーダーメイド）か、同じ種類の製品を大量・反復的に生産（総合）するかで分類する。【個別 or 総合】

##### ② 実際原価と標準原価による分類

実際に消費された原価に基づいて計算するか、あらかじめ決められた原価（標準原価）に基づいて計算するかで分類する。【実際 or 標準】

##### ③ 集計される範囲による分類

変動費と固定費を分けずに発生した原価全部を集計対象として計算するか、変動費のみを原価として（直接）計算するかで分類する方法【全部 or 直接】

・①、②、③それぞれに2通りずつあり、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ 通りの原価計算の方法があることになるが、日商2級で学習するのは次の4つ。

- (1) 【個別・実際・全部】全部実際個別原価計算⇒通常、「個別原価計算」という。
- (2) 【総合・実際・全部】全部実際総合原価計算⇒通常、「総合原価計算」という。
- (3) 【総合・標準・全部】全部標準総合原価計算⇒通常、「標準原価計算」という。
- (4) 【総合・実際・直接】直接実際総合原価計算⇒通常。「直接原価計算」という。